

■ 研究部レポート

繁殖期調査 エナガ・ヤマガラ・ウグイスの繁殖を記録しよう

● エナガ：都心部はどこまで繁殖分布を広げたか

急激に動きだしたエナガ。明治神宮でも幼鳥が観察されていて、JR山手線内での繁殖もあると思われます。〔写真〕

● ヤマガラ：23区内ではどこで繁殖しているだろう

越冬期は都内各地に姿を見せますが、繁殖している場所としては、明治神宮・皇居以外はまだまだよくわかっていません。

● ウグイス：都内の平地部での繁殖の実態は？

多摩地区では平地でも繁殖が記録されていますが、その実態はまだ不明です。6月にホーホケキョと囀っていたら、とりあえずチェックを。



巣材の羽毛を運ぶエナガ

photo by H.Kawachi

【調査・報告要領】

今年は上記3種の記録を積極的に集めますので、都内各地で繁殖にかかわる行動や生息に気づいたら、ぜひ時間をかけて調べてください。報告は下記の方法をお願いします。

報告方法 手紙：〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3F

Fax：03-5273-5142 E-mail：office@yacho-tokyo.org 研究部・繁殖記録係宛て

コアジサシの渡りのルート調べる！ — ご協力ください

Australia-Asia Little Tern *Sterna albifrons* Geolocator Project

プロジェクト共同団体

〔公財〕日本鳥類保護連盟、NPO法人リトルターン・プロジェクト、水鳥研究会

コアジサシは繁殖のためにオーストラリアやニュージーランドから数千kmの道のりを飛んできます。河川の中洲や海岸線の砂浜・造成地などの裸地環境にコロニーを作って繁殖します。しかし、彼らが利用できる環境がいろいろな理由で減少しています。環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に、東京都では区部・南多摩・西多摩では絶滅危惧ⅠB類、北多摩では絶滅危惧ⅠA類に指定されています。コアジサシは国境を越えて渡りをしますので、オーストラリア、中国、ロシア、アメリカとの間で結ばれている二国間の渡り鳥条約にもリストアップされています。



このような貴重な鳥の保全を目的として、ジオロケーター（※）を使って渡りのルート調べるプロジェクトを立ち上げています。2013年に関西国際空港、天竜川、東京湾などで100羽に装置を装着し、2014年にはそのデータを回収するため再捕獲をします。装着個体を見かけた人は、下記にご連絡ください。

※ジオロケーター：いろいろな情報を記録するもので、コアジサシには照度と時間から緯度経度を算出するタイプを装着しました。重さは取付用のフラッグ込みで1.2gと軽量です。

【連絡・問合せ先】〔公財〕日本鳥類保護連盟・藤井 幹

電話：03-5378-5691 E-mail：fujii@jspb.org